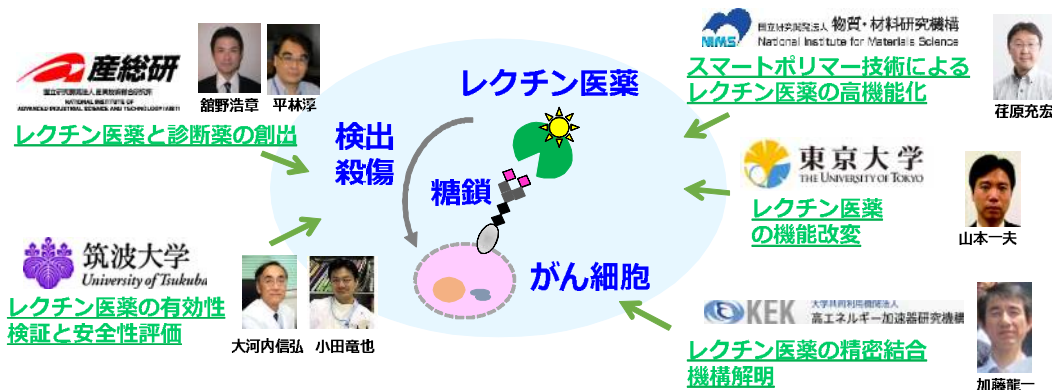


レクチン-薬剤複合体を用いた新規膵がん治療法の開発 A novel therapeutic strategy of pancreatic cancer using a lectin drug conjugate (LDC)

レクチンの普及化と実用化の促進を目的として、TIA連携5機関で2016年に「レクチン利用技術研究会」を発足し、これまでに計5回のワークショップ、サマースクール、技術研修などを開催してきた。我々の究極の目標は、レクチンを利用することにより、難治がんである膵がんを撲滅することである。膵がん特異的に発現している糖鎖を標的としたレクチン医薬品の開発と実用化に向けて様々な課題の解決に向けた研究を進めている。達成に向けてのご支援をお願いしたい。

In order to accelerate the expansion and industrialization of lectins, we established "A Society for the Study of Lectin application technology" in 2016 and organized workshops, summer school, and training course. Our ultimate goal is to develop a novel therapeutic strategy for pancreatic cancer using a lectin-drug conjugate (LDC).



薬剤融合型rBC2LCNレクチンを用いた膵がん治療法の開発

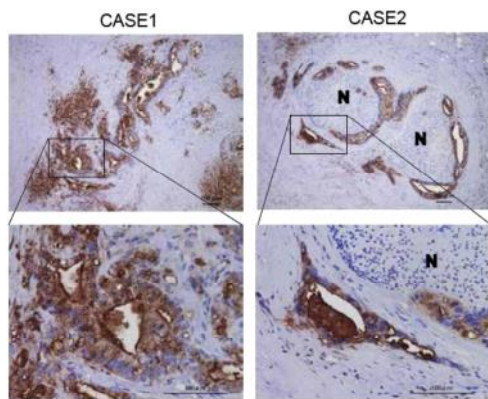


図1 rBC2LCNを用いた臨床膵がんの染色

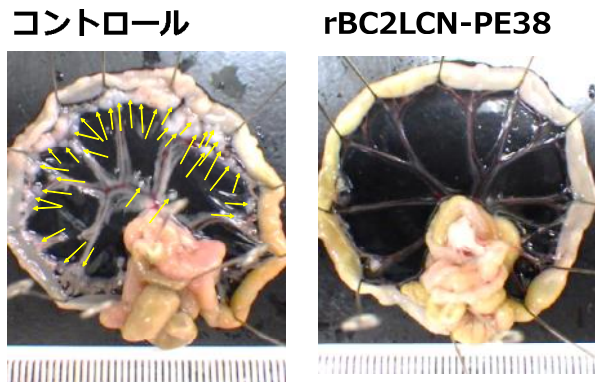


図3 レクチン医薬を用いた膵がん腹膜播種モデルへの抗がん作用

コントロール rBC2LCN-PE38

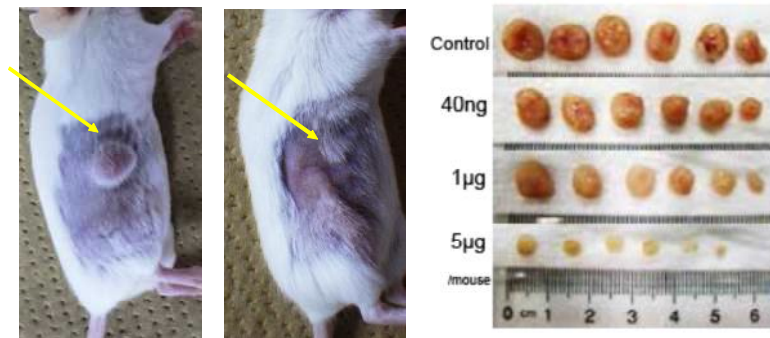


図2 レクチン医薬品の膵がん皮下移植マウスに対する抗がん作用

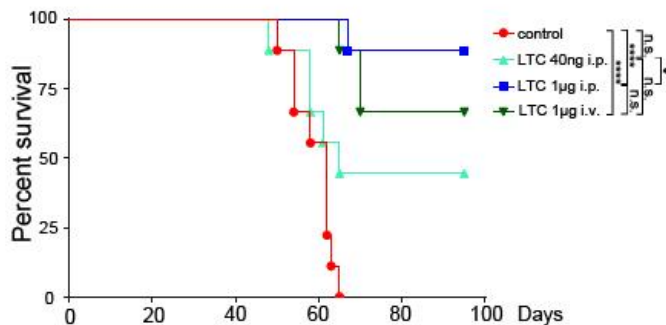


図4 レクチン医薬を用いた膵がん腹膜播種モデルの延命効果

参考文献: Shimomura et al. Mol Cancer Ther. 2017 in press